

補聴器外来のご案内

第2・第4水曜日 午後2時～午後5時（予約制）



◎ 補聴器外来とは

最近聞こえが悪くなってきた、そろそろ補聴器が必要かな？と思われた場合には、補聴器を購入する前に、まず耳鼻科を受診することをお勧めします。

補聴器相談に来られた患者さんで、耳垢が詰まっていただけのケースや、痛みのない中耳炎などの病気が見つかることもあり、補聴器が不要な場合もあります。

補聴器は市販されていますので誰でも購入することができますが、個々に合わせた調整が必要な器具です。低い音から高い音まで、聞こえの程度は一人々異なりますので、専門家によるアドバイスのもと機種を選択と調整をしないと購入してもよく聞こえない場合があります。

「補聴器を使ってみたいけど、効果がわからないのに買うのは不安・・・。」

「販売店に行くと高いものを買わされそうで不安・・・。」

という方も遠慮なくご相談下さい。また、すでに補聴器を持っておられる方で、上手く合わず使っていない、使いづらいという方、また両耳装用してみたいという方のご相談も受け付けております。

◎ 気になる料金のはなし

「補聴器ってすごく高いと聞くけど・・・。」と心配され、補聴器を試したいと言い出せない方も多くいらっしゃると思います。いくつも種類がありまして3万円前後のものから30～40万円するものまでありますが、補聴器は高ければよいというものではありません。その人に合ったものを選んでいただきたいと思います。

○補聴器を使用される方の難聴の程度や年齢などによっては行政から補助があります。

※該当される方には申請書類をお作りしています。

○難聴のため身体障害認定を受けられている方は、難聴の程度に応じて障害者総合支援法対象補聴器が支給されます。

※自己負担金は原則1割負担となります。

※ただし収入により負担額が変わる場合があります。

○自治体でも助成制度を設けているところがあります。制度の有無についてはお住まいの自治体にお問い合わせ下さい。



※「補聴器相談の流れ」については裏面をご参照ください。

◎ 補聴器相談の流れ

診察 検査

- 耳鼻科外来を受診して頂き、治療が必要な病気がないか診察します。
- 聴力検査を行い補聴器の適応の有無を判断します。
- 補聴器外来を受診する前に、語音聴力検査(言葉の聞き取りの検査)を行います。この検査は補聴器をつける耳を決めるためや、身体障害認定、また補聴器装用後の効果判定のために必要となります。
- 第2または第4水曜日の午後2時から5時に補聴器外来の予約をお取りします。

相談 フィッティング

- 補聴器外来で補聴器適合判定医、業者（認定補聴器技能者）立ち合いのもと、補聴器の機種選択、フィッティング(患者さん個々に合わせた調整)、装用指導を行い、試聴器をお貸し出しします。
- 1～2週間ご自宅で補聴器を使っていた頂き、再度補聴器外来を受診して頂きます。
- どのような時にうるさく感じたか、どのような時に聞き取りづらかったかなどの感想を伺い、必要に応じて再調整、機種変更を行います。
- 補聴器適合検査を行い、補聴器装用の効果を客観的に判断し、検査結果を元にさらに補聴器の調整を行います。

調整 点検

- ご自宅での試聴、使用時の感想の確認、必要に応じて再調整、機種変更、貸し出しを繰り返します。
- 試聴時にはイヤーマールド(その人の耳の型をとった耳栓)を作成してお貸し出しすることも可能です。
- イヤーマールドを作成することでハウリング(ピーピー音)や紛失のリスクを減らします。

購入

- 効果が十分と判断されれば補聴器を決定します。
- あまり効果が実感できない場合は補聴器の返却も可能です。
- すでに補聴器をお持ちの方は、その補聴器が患者さんに適したものであるかを調べ、再調整をさせていただきます。
- 必要があれば機種や装用耳の変更についてもご提案します。

医療法人社団哺育会 浅草病院
お問い合わせ TEL03-3876-1711 (代)